リーディングDXスクール事業　【実践事例】

春日井市立勝川小学校（愛知県）【協力校】

【取組内容】　②各学年で必要になるスキルは、年度初めに計画して指導

＜考察＞

本校では、年度初めの総合的な学習の時間を、各学年で必要な情報活用能力を育むための時間としている。情報部から提案した情報活用能力体系表をもとにして、学年で必要となるスキルを含んだ課題を検討して取り組むようにしている。

そして、児童が楽しく課題に取り組みながら様々なスキルを身に付けていけるように計画している。

また、音読カード、当番活動表など、これまでアナログで作成してきたものに関しても積極的にクラウド・ICT機器を使いながら作成するようにしている。そうすることで、使うことの良さやICT機器を使った学び方ができるようになることを目標にした活動に充てることで情報活用能力の育成に取り組んでいる。

必要なスキルを含んだ、課題に取り組みながら情報活用能力を育む

【単元】おたがいの好きを知ろう　～スライドでコラージュづくり～（３～４時間）

【目標】

・自分のことを知る

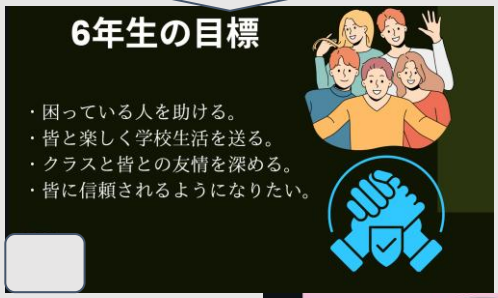
・スライドを使って動画発表ができる

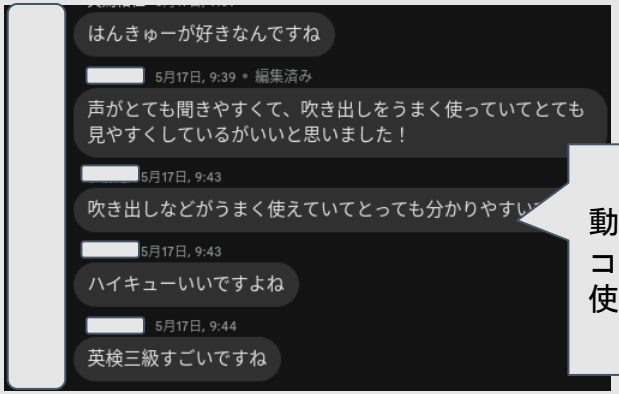
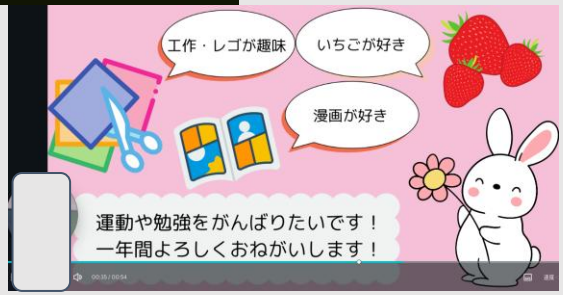
・課題の設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現の学び方を意識できる

・写真や吹き出しの挿入、アニメーションを使うことができる

作成したものは動画撮影をして、チャットで共有する。誰のでも、好きなタイミングで視聴できるようにすることで、お互いの作品がいつでも、どこでも見合うことができる。

毎年作成する音読カードもタブレットで作成してスキルを高める





動画を見たらコメント機能を使って認め合い